

**第73回税理士試験 消費税法
第二問(計算)解答**

〔表示内容の説明〕

配点：●・・・1点

問1 (25点)

I 課税標準額に対する消費税額

【課税標準額】

計	算	過	程	(単位：円)
1. 標準税率				
(1) 薬局売上高			$2,457,380円 + 1,274,650円 = 3,732,030円$ ●	
(2) サ高住収入			$613,510円 + 643,220円 = 1,256,730円$	
(3) 化粧品売上高			$26,077,950円 - 3,375,950円 = 22,702,000円$	
(4) 雑収入				
① 車両売却			2,120,000円	
② 食事代収入			318,250円	
③ ①+②=			2,438,250円 ●	
(5) (1)~(4)計 30,129,010円				
			$30,129,010円 \times \frac{100}{110} = 27,390,009円 \rightarrow 27,390,000円$ (千円未満切捨)	
2. 軽減税率				
(1) 薬局売上高			851,970円	
(2) サ高住収入			2,957,180円 ●	
(3) (1)+(2)=3,809,150円				
			$3,809,150円 \times \frac{100}{108} = 3,526,990円 \rightarrow 3,526,000円$ (千円未満切捨)	
3. 1 + 2 = 30,916,000円				
			金	
			額	30,916,000円

【課税標準額に対する消費税額】

計	算	過	程	(単位：円)
1. 標準税率 $27,390,000円 \times 7.8\% = 2,136,420円$				
2. 軽減税率 $3,526,000円 \times 6.24\% = 220,022円$				
3. 合計				
			$1 + 2 = 2,356,442円$	
			金	
			額	2,356,442円

II 仕入れに係る消費税額の計算等

【課税売上割合】

計 算 過 程		(単位：円)
1. 課税資産の譲渡等の対価の額		
(1) 27,390,009円 + 3,526,990円 + 3,375,950円● = 34,292,949円		
(2) $1,494,200円 - 1,494,200円 \times \frac{7.8}{110} \times \frac{100}{78} + 67,080円 - 67,080円 \times \frac{6.24}{108} \times \frac{100}{78} = 1,420,474円$		
(3) (1)-(2) = 32,872,475円		
2. その他の資産の譲渡等の対価の額		
(1) 薬局売上高		312,170,820円
(2) 介護事業収入		277,144,500円●
(3) サ高住収入	14,822,700円 + 1,132,500円 = 15,955,200円●	
(4) 受取利息配当金		839円●
(5) 雑収入		
① リサイクル預託金	14,330円 × 5% = 716円	
② 株式売却	4,764,800円 × 5% = 238,240円	
③ ① + ② =		238,956円●
(6) (1)~(5)計	605,510,315円	
3. 資産の譲渡等の対価の額		
1 + 2 = 638,382,790円		
4. 課税売上割合		
$\frac{32,872,475円}{638,382,790円} = 0.05149\dots$		
	課税売上割合	$\frac{32,872,475円}{638,382,790円}$

【仕入れに係る消費税額の計算方法の判定】

計 算 過 程		(単位：円)
1. 32,872,475円 ≤ 500,000,000円		
2. $\frac{32,872,475円}{638,382,790円} = 0.05149\dots < 95\% \therefore$ 按分控除		
判定結果	<input type="checkbox"/> 全額控除 <input checked="" type="checkbox"/> 個別対応方式又は一括比例配分方式 いずれかに✓を付すこと	

【仕入れに係る消費税額】

計 算 過 程	(単位：円)
1. 課税資産の譲渡等によりのみ要するもの	
(1) 課税仕入れに係る消費税額	
① 標準税率	
イ. 開発費	2,035,000円●
ロ. 仕入高	902,465円+21,103,140円=22,005,605円
ハ. 広告宣伝費	1,092,836円
ニ. 賃借料	1,712,800円●
ホ. 修繕費	396,517円
ヘ. 地代家賃	9,792,000円
ト. イ～ヘ計	37,034,758円
	$37,034,758円 \times \frac{7.8}{110} = 2,626,101円$
② 軽減税率	
イ. 仕入高	614,373円
ロ. 食材費	3,244,824円+385,765円=3,630,589円
ハ. イ+ロ	4,244,962円
	$4,244,962円 \times \frac{6.24}{108} = 245,264円$
(2) 仕入れに係る対価の返還等に係る消費税額	
標準税率	$731,490円 \times \frac{7.8}{110} = 51,869円●$
(3) 棚卸資産の調整に係る消費税額	
① 標準税率	$(120,487円+1,835,625円) \times \frac{7.8}{110} = 138,706円$
② 軽減税率	$88,387円 \times \frac{6.24}{108} = 5,106円$
2. その他の資産の譲渡等によりのみ要するもの	
課税仕入れに係る消費税額	
(1) 標準税率	
① 福利厚生費	247,300円
② 広告宣伝費	687,170円
③ 賃借料	1,422,400円+4,757,200円=6,179,600円
④ 修繕費	2,416,843円
⑤ ①～④計	9,530,913円
	$9,530,913円 \times \frac{7.8}{110} = 675,828円$
(2) 軽減税率	
食材費	20,515,634円
	$20,515,634円 \times \frac{6.24}{108} = 1,185,347円$

計 算 過 程

(単位：円)

3. 共通課税仕入れ

(1) 課税仕入れに係る消費税額

① 標準税率

イ. 仕入高	241,742,224円	●
ロ. 福利厚生費	150,000円	●
ハ. 広告宣伝費	376,200円	
ニ. 接待交際費	3,749,103円 - 160,000円 - 370,000円 = 3,219,103円	●
ホ. 賃借料	2,135,200円 + 2,663,200円 = 4,798,400円	●
ヘ. 修繕費	318,461円	●
ト. 出向・派遣費	2,401,300円	●
チ. 地代家賃	7,266,700円	●
リ. その他の費用	34,780,767円 - 3,500,000円 - 83,100円 - 128,034円 = 31,069,633円	●
ヌ. 調剤薬局設備	7,628,500円	●
ル. イ～ヌ計	298,970,521円	

$$298,970,521円 \times \frac{7.8}{110} = 21,199,727円$$

② 軽減税率

その他の費用 128,034円

$$128,034円 \times \frac{6.24}{108} = 7,397円$$

(2) 仕入れに係る対価の返還等に係る消費税額

$$\text{標準税率 } 1,267,085円 \times \frac{7.8}{110} = 89,847円$$

(3) 棚卸資産の調整に係る消費税額

$$\text{標準税率 } 14,052,951円 \times \frac{7.8}{110} = 996,481円$$

4. 課税仕入れ等の合計額

(1) 課税仕入れに係る消費税額

$$\text{① 標準税率 } (37,034,758円 + 9,530,913円 + 298,970,521円) \times \frac{7.8}{110} = 24,501,657円$$

$$\text{② 軽減税率 } (4,244,962円 + 20,515,634円 + 128,034円) \times \frac{6.24}{108} = 1,438,009円$$

(2) 仕入れに係る対価の返還等に係る消費税額

$$\text{標準税率 } (731,490円 + 1,267,085円) \times \frac{7.8}{110} = 141,717円$$

(3) 棚卸資産の調整に係る消費税額

$$\text{① 標準税率 } (14,052,951円 + 120,487円 + 1,835,625円) \times \frac{7.8}{110} = 1,135,188円$$

$$\text{② 軽減税率 } 88,387円 \times \frac{6.24}{108} = 5,106円$$

計 算 過 程

(単位：円)

5. 控除対象仕入税額

(1) 個別対応方式

① 標準税率

イ. $2,626,101円 - 51,869円 + 138,706円 = 2,712,938円$

ロ. $(21,199,727円 + 996,481円) \times 0.05149\dots = 1,142,957円$

ハ. $89,847円 \times 0.05149\dots = 4,626円$

ニ. $イ + ロ - ハ = 3,851,269円$

② 軽減税率

イ. $245,264円 + 5,106円 = 250,370円$

ロ. $7,397円 \times 0.05149\dots = 380円$

ハ. $イ + ロ = 250,750円$

③ ①+②=4,102,019円

(2) 一括比例配分方式

① 標準税率

イ. $(24,501,657円 + 1,135,188円) \times 0.05149\dots = 1,320,127円$

ロ. $141,717円 \times 0.05149\dots = 7,297円$

ハ. $イ - ロ = 1,312,830円$

② 軽減税率

$(1,438,009円 + 5,106円) \times 0.05149\dots = 74,310円$

③ ①+②=1,387,140円

(3) (1)>(2) ∴ 4,102,019円

金
額

4,102,019円

【売上げに係る対価の返還等に係る消費税額】

計 算 過 程		(単位：円)
1. 標準税率 $102,460円 + 1,391,740円 = 1,494,200円$ $1,494,200円 \times \frac{7.8}{110} = 105,952円$		
2. 軽減税率 $67,080円 \times \frac{6.24}{108} = 3,875円$		
3. 1 + 2 = 109,827円		
金		109,827円 ●
額		

【貸倒れに係る消費税額】

計 算 過 程		(単位：円)
1. 標準税率 $(18,370円 + 32,570円) \times \frac{7.8}{110} = 3,612円$		
金		3,612円 ●
額		

【控除税額小計】

計 算 過 程		(単位：円)
1. 標準税率 3,851,269円 + 105,952円 + 3,612円 = 3,960,833円		
2. 軽減税率 250,750円 + 3,875円 = 254,625円		
3. 1 + 2 = 4,215,458円		
金		4,215,458円
額		

Ⅲ 差引税額又は控除不足還付税額の計算

【差引税額又は控除不足還付税額】

計 算 過 程		(単位：円)
1. 標準税率 2,136,420円 - 3,960,833円 = △1,824,413円		
2. 軽減税率 220,022円 - 254,625円 = △34,603円		
3. 1 + 2 = △1,859,016円		
金		△ 1,859,016円
額		

Ⅳ 納付税額又は中間納付還付税額の計算

【納付税額又は中間納付還付税額】

計 算 過 程		(単位：円)
前課税期間が免税事業者であるため、中間納付額はない		
金		円
額		

問2 (25点)

I 課税標準額に対する消費税額

【課税標準額】

計 算 過 程		(単位：円)
標準税率		
1. 不動産賃貸事業収入 (ビルA)	4,316,400円+323,400円+6,493,519円+485,100円+86,800円=11,705,219円●	
2. 不動産販売事業収入		
(1) Dビル	362,603,000円-142,879,000円=219,724,000円	
(2) Eアパート	246,991,000円-108,695,900円=138,295,100円	
(3) (1)+(2)=		358,019,100円●
3. その他の不動産事業収入		18,542,870円+8,055,930円=26,598,800円●
4. 1～3計	396,323,119円	
	$396,323,119円 \times \frac{100}{110} = 360,293,744円 \rightarrow 360,293,000円$ (千円未満切捨)	
	金	360,293,000円
	額	

【課税標準額に対する消費税額】

計 算 過 程		(単位：円)
	$360,293,000円 \times 7.8\% = 28,102,854円$	
	金	28,102,854円
	額	

II 仕入れに係る消費税額の計算等

【課税売上割合】

計 算 過 程		(単位：円)
1. 課税資産の譲渡等の対価の額		
(1)	360,293,744円	
(2) 非課税資産の輸出	186,500円+219,147円=405,647円●	
(3) 国外移送	129,740円+97,820円=227,560円●	
④ (1)+(2)+(3)=	360,926,951円	
2. その他の資産の譲渡等の対価の額		
(1) 不動産賃貸事業収入	5,078,000円+7,479,000円+6,455,000円+1,440,000円×50%=	19,732,000円●
(2) 不動産販売事業収入	142,879,000円+108,695,900円+401,629,000円=	653,203,900円●
(3) 利息収入		87,961円●
(4) (1)~(3)計	673,023,861円	
3. 資産の譲渡等の対価の額		
	1 + 2 = 1,033,950,812円	
4. 課税売上割合		
	$\frac{360,926,951円}{1,033,950,812円} = 0.34907\dots$	
	課税売上割合	$\frac{360,926,951円}{1,033,950,812円}$

【仕入れに係る消費税額の計算方法の判定】

計 算 過 程		(単位：円)
1.	$\frac{360,293,744}{9} \times 12 = 480,391,656 \text{円} \leq 500,000,000 \text{円}$	●
2.	$\frac{360,926,951}{1,033,950,812} = 0.34907 \dots < 95\%$	∴ 按分控除 ●
判定結果		<input type="checkbox"/> 全額控除 <input checked="" type="checkbox"/> 個別対応方式又は <input checked="" type="checkbox"/> 一括比例配分方式 いずれかに✓を付すこと

【仕入れに係る消費税額】

計 算 過 程		(単位：円)
1.	課税資産の譲渡等により要するもの	
(1)	不動産賃貸事業支出	
①	ビルA	1,826,310円 + 3,268,900円 = 5,095,210円
②	コンドミニアムC	96,470円
③	①+②=	5,191,680円 ●
(2)	不動産販売事業支出 (Eアパート)	37,950,500円 + 50,000,000円 = 87,950,500円 ●
(3)	その他の不動産事業支出	9,022,680円 + 2,163,480円 = 11,186,160円 ●
(4)	その他の支出	2,367,770円
(5)	(1)~(4)計	106,696,110円
	$106,696,110 \text{円} \times \frac{7.8}{110} = 7,565,724 \text{円}$	
2.	その他の資産の譲渡等により要するもの	
(1)	不動産賃貸事業支出	
①	ビルA	3,491,160円
②	マンションB	1,860,714円
	(注) 購入費用は居住用賃貸建物に該当するため、仕入税額控除の適用はない	
③	①+②=	5,351,874円 ●
(2)	不動産販売事業支出 (F土地)	94,820円 ●
(3)	その他の支出	249,820円
(4)	(1)~(3)計	5,696,514円
	$5,696,514 \text{円} \times \frac{7.8}{110} = 403,934 \text{円}$	
3.	共通課税仕入れ	
(1)	不動産賃貸事業 (ビルA)	2,420,519円 ●
(2)	その他の支出	6,759,680円
(3)	資本的支出G	1,339,110円 ●
(4)	(1)~(3)計	10,519,309円
	$10,519,309 \text{円} \times \frac{7.8}{110} = 745,914 \text{円}$	
4.	課税仕入れ等の合計額	
	$(106,696,110 \text{円} + 5,696,514 \text{円} + 10,519,309 \text{円}) \times \frac{7.8}{110} = 8,715,573 \text{円}$	

6. 控除対象仕入税額

- (1) 個別対応方式 7,565,724円+745,914円×0.34907…=7,826,104円
 (2) 一括比例配分方式 8,715,573円×0.34907…=3,042,393円
 (3) (1)>(2) ∴ 7,826,104円

金 額	7,826,104円
--------	------------

【仕入れに係る消費税額の調整】

計 算 過 程	(単位：円)
<居住用賃貸建物に係る消費税額の調整>	
(1) ビルA	
令和2年9月30日以前の取得であるため、該当しない。	
(2) マンションB	
$136,783,460円 \times \frac{100}{110} = 124,348,600円 \geq 10,000,000円$ ∴ 該当する●	
<調整対象固定資産に係る調整税額>	
(1) 調整対象固定資産の判定	
① ビルA $205,633,120円 \times \frac{100}{110} = 186,939,200円 \geq 1,000,000円$ ∴ 該当する●	
② マンションB 居住用賃貸建物に該当するため、調整なし	
③ 資本的支出G $1,339,110円 \times \frac{100}{110} = 1,217,372円 \geq 1,000,000円$ ∴ 該当する	
(2) 著しい変動の調整(ビルA)	
① 仕入れ等の課税期間における課税売上割合	
$\frac{396,325,963円}{416,922,055円} = 0.95059…$ ●	
② 通算課税売上割合	
$\frac{396,325,963円 + 168,162,961円 + 319,652,693円 + 360,926,951円 (=1,245,068,568円)}{416,922,055円 + 228,339,671円 + 951,304,688円 + 1,033,950,812円 (=2,630,517,226円)} = 0.47331…$ ●	
③ 著しい変動の判定	
イ. 変動率	
$\frac{0.95059… - 0.47331…}{0.95059…} = 0.50208… \geq 50\%$	
ロ. 変動差	
$0.95059… - 0.47331… = 0.47728… \geq 5\%$ ∴ 著しい減少に該当	
④ 調整対象基準税額	
$205,633,120円 \times \frac{7.8}{110} = 14,581,257円$	

⑤ 調整税額

イ. 14,581,257円

ロ. $14,581,257円 \times 0.47331\dots = 6,901,557円$

ハ. $イ - ロ = 7,679,700円$

(3) 転用の調整

該当するものはない

<仕入れに係る消費税額>

$7,826,104円 - 7,679,700円 = 146,404円$

調整税額	7,679,700円
調整後の 仕入れに係る消費税額	146,404円

Ⅲ 差引税額又は控除不足還付税額の計算

【差引税額又は控除不足還付税額】

計 算 過 程		(単位:円)
28,102,854円 - 146,404円 = 27,956,450円 → 27,956,400円 (百円未満切捨)		
金 額		27,956,400円

IV 中間納付税額の計算

計 算 過 程		(単位：円)
【一月中間申告の要否の判定】		
(1) 1月～4月	$\frac{5,133,600}{12} = 427,800$ 円 < 4,000,000円	∴ 申告不要
(2) 5月～8月	$\frac{4,863,200}{12} = 405,266$ 円 < 4,000,000円	∴ 申告不要
【三月中間申告の要否の判定】		
(1) 1月～3月	$\frac{5,133,600}{12} \times 3 = 1,283,400$ 円 > 1,000,000円	∴ 申告必要
	1,283,400円 (百円未満切捨) × 1回 = 1,283,400円	
(2) 4月～6月	$\frac{4,863,200}{12} \times 3 = 1,215,798$ 円 > 1,000,000円	∴ 申告必要
	1,215,700円 (百円未満切捨) × 1回 = 1,215,700円	
(3) (1)+(2)	= 2,499,100円	
【六月中間申告の要否の判定】		
三月中間申告対象期間を含むため、申告不要		
【中間納付税額】		
2,499,100円		
金		2,499,100円 ●
額		

V 納付税額又は中間納付還付税額の計算

計 算 過 程		(単位：円)
【納付税額又は中間納付還付税額】		
27,956,400円 - 2,499,100円 = 25,457,300円		
金		25,457,300円 ●
額		